

(2)「農林水産業の「稼ぐ力」の向上に資する生産基盤づくり」を図る事業

ア 県内農業産出額の向上に資する生産基盤の整備

畑かん営農ビジョンに基づき、生産性や収益力の高い農業を実現するため、大規模畑地かんがい施設などの生産基盤の整備を推進します。

また、農地中間管理機構とも連携して、農地の集積・集約化、高収益作物への転換、ほ場の大区画化、耕地利用率の向上や省力化技術の導入促進に資する整備を推進します。

- ① 大規模畑地かんがいの整備 [畑地かんがい面積1,000ha以上]
- ② 農業の競争力強化を図るための農地等の整備 [担い手への農地集積率60%以上]

イ 畜産担い手の育成による安定的な生産を図るための基盤整備

地域の中核となる畜産経営体の育成を通じた畜産主産地の形成を図るために、草地等の受益面積が30ha以上（中山間地域は15ha以上）の地域で、自給飼料増産のための草地、飼料畑の造成・整備を行い、飼料生産基盤に立脚した安定的な畜産経営の発展を促進します。

ウ 林業・水産業の生産力の向上に資する生産基盤の整備

- ① 効率的かつ安定的な林業経営の確立を図るための基幹的な林道の整備

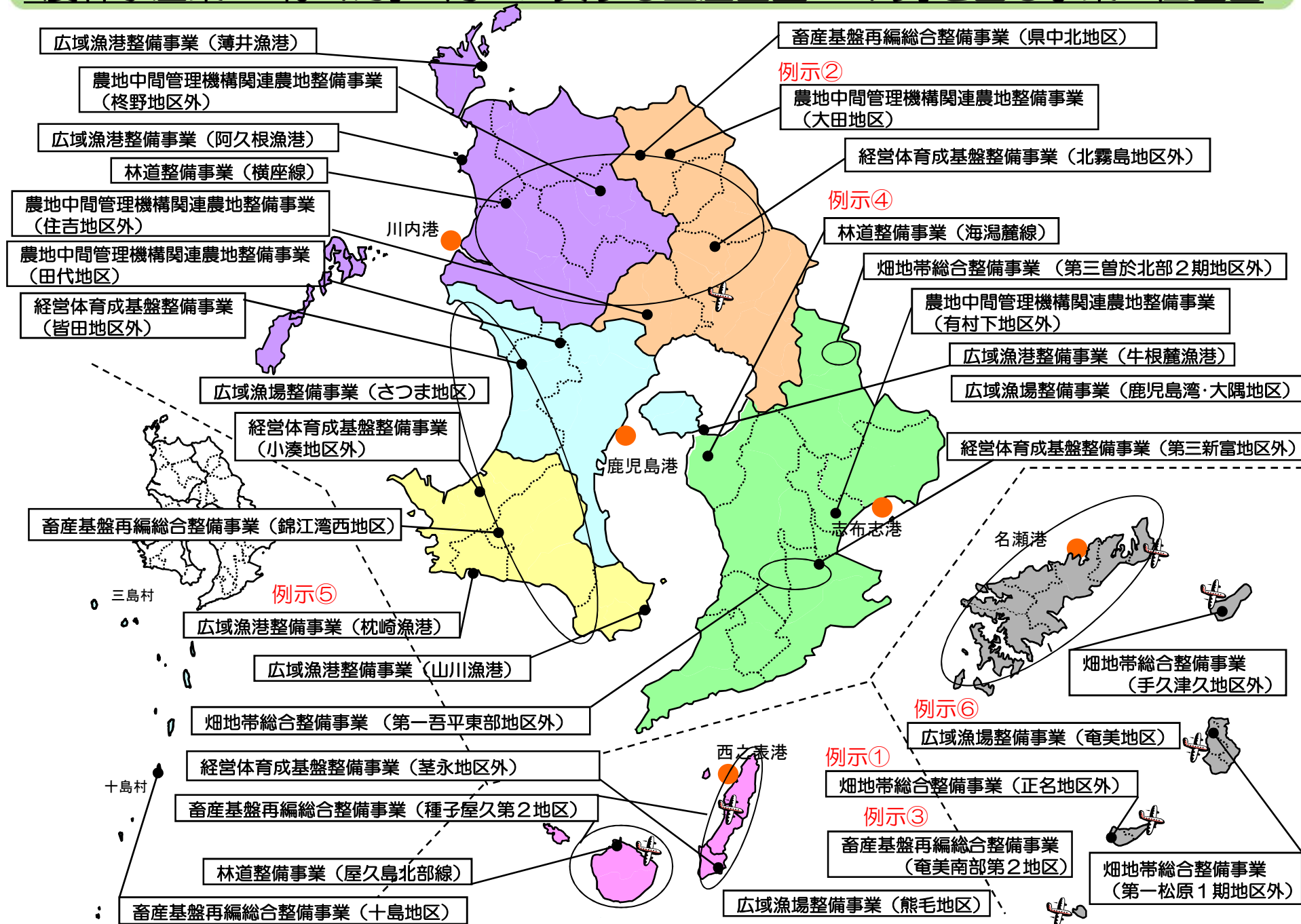
スギ・ヒノキ等の豊富な人工林資源が存在する地域において、基幹的な林道を整備し、森林の持つ多面的機能を高度に発揮させるとともに、林業専用道や森林作業道との組み合わせにより効率的な林業経営を促進します。

- ② 良質な水産物の安定供給を図るための漁港・漁場の整備

県内の主要な漁港において、水産業の生産力強化と輸出促進を図るための防波堤や岸壁等を整備します。

また、受益戸数が200戸以上の地域において、水産資源の維持・増大と漁業経営の安定を図るため、魚礁の設置や増養殖施設を整備します。

「農林水産業の「稼ぐ力」の向上に資する生産基盤づくり」を図る事業の位置図



(2)「農林水産業の「稼ぐ力」の向上に資する生産基盤づくり」を図る事業

ア 県内農業産出額の向上に資する生産基盤の整備

① 大規模畑地かんがいの整備

正名地区

畑地帯総合整備事業

【概 要】

- ◇ 本地区は、知名町の西部に位置し、用水施設が整備されておらず、干ばつの被害を受けやすく、農業生産及び経営に支障を来していることから、当該事業により、畑地かんがい施設の整備を実施します。

【事業の概要】

畑地かんがい A=138.7ha

【整備効果】

- 畑地かんがい施設整備を実施することで、用水の安定的な供給が可能となり、農業生産性を向上させ、収益力の高い農業の実現を図り、農業産出額の向上を目指します。

【令和7年度の整備目標】

- 畑地かんがい末端散水施設を整備することで、生産性及び作物品質の向上、高付加価値作物の生産拡大を図ります。



散水状況（サトウキビ）



散水状況（さといも）

(2)「農林水産業の「稼ぐ力」の向上に資する生産基盤づくり」を図る事業

ア 県内農業産出額の向上に資する生産基盤の整備

② 農業の競争力強化を図るための農地等の整備

大田地区

農地中間管理機構関連農地整備事業

【概 要】

◇ 本地区は、伊佐市の中央部に位置する水田地帯である。小区画で農道も狭小であるため、大型機械による営農ができない状況にある。

また、湿田が多く高収益作物の作付けが困難な状況にあることから、当該事業により、ほ場の区画拡大や暗渠排水等の整備を実施します。

【事業の概要】

区画整理 A=46.8ha

【整備効果】

● 農地の区画拡大等の基盤整備を実施することで、農地中間管理機構による担い手への農地の集積・集約化の促進に加え、水田汎用化による収益性の向上を図り、地域農業の継続的な安定と豊かで競争力のある農業の実現を目指します。

[実施前]

[実施後]



【令和7年度の整備目標】

□ 区画整理や暗渠排水を整備し、大型機械の導入や水田の汎用化など事業効果の早期発現を図ります。

(2)「農林水産業の「稼ぐ力」の向上に資する生産基盤づくり」を図る事業

イ 畜産担い手の育成による安定的な生産を図るための基盤整備

奄美南部第2地区
(徳之島, 沖永良部島, 与論島)

畜産基盤再編総合整備事業

【概要】

◇温暖な気候を活用し永年牧草による肉用牛経営が実施され, 規模拡大意欲も高い奄美南部第2地区において, 粗飼料確保が課題となっている。

そこで, 粗飼料自給率向上のため, 草地を造成・整備し飼料基盤の強化を図るとともに, キビハカマ等の地域低未利用資源の積極的な活用を推進し, 併せて農業用施設等の整備を実施し, 地域活性化を積極的に推進する。

【総事業量】

草地造成・整備	18.41 ha	
家畜飼養管理施設	13棟	
家畜排せつ物処理施設	12棟	ほか

【令和7年度の整備目標】

●草地造成整備	6.71 ha	
●家畜保護施設	3棟	
●家畜排せつ物処理施設	4棟	ほか

【整備効果】

●飼料生産基盤の強化による地域の中核となる畜産経営体の育成を通じた畜産主産地の形成を目指します。



飼料畑の造成イメージ



ハカマロールの生産



家畜飼養管理施設の整備 イメージ

(2)「農林水産業の「稼ぐ力」の向上に資する生産基盤づくり」を図る事業

ウ 林業・水産業の生産力の向上に資する生産基盤の整備

① 効率的かつ安定的な林業経営の確立を図るための基幹的な林道の整備

林道 海潟麓線

【概 要】

◇当該路線は、垂水市海潟地内の市道「小森3号線」を起点とし、桜島を望む高隈山系の北西側を通過し、垂水市牛根麓地内の国道220号に連絡します。

◇当該路線沿線には、656haの広大な森林資源があります。

◇垂水市海潟地区から牛根麓地区間は、国道220号のみで接続されており、災害時の緊急避難道路（迂回路）として機能することを期待されています。

○ 開設計画延長 L=12,634m

【令和7年度の整備目標】

林道開設 L=300m

林道整備事業

【整備効果】

●森林の整備

林地への到達距離を短縮することにより、間伐などの施業範囲の拡大を図るとともに、高性能林業機械の導入による施業の広域化、効率化が図られます。

●地域交通網

海潟地区から牛根麓地区間の国道220号の災害時の緊急避難道路（迂回路）として利用が可能になります。



(2)「農林水産業の「稼ぐ力」の向上に資する生産基盤づくり」を図る事業

ウ 林業・水産業の生産力の向上に資する生産基盤の整備 ② 良質な水産物の安定供給を図るための漁港・漁場の整備

特定第3種漁港 枕崎漁港	広域漁港整備事業
【概 要】 ◇本地区は、黒潮の流れる東シナ海的好漁場に恵まれ、古くからカツオの一本釣りやまき網漁業が行われ漁業の町として栄えてきました。また、全国鰹節生産量の約5割を占め日本一の生産量を誇り、漁港背後には多くの鰹節加工場が立地するなど、地域の基幹産業として重要な役割を果たしています。 ◇消費者の安全・安心に対するニーズの高まりがある中、高度衛生管理体制が構築されているのは、漁港の一部のみであるため、枕崎漁港全体の高度衛生管理体制への対応を推進する必要があります。 ◇陸揚量の約5割を占める冷凍カツオは主に外港部の-9m岸壁で陸揚げが行われているため、大型船による陸揚げ等に必要な岸壁の整備を行い、漁業活動の効率化を図ります。 ◇主要な陸揚げ岸壁である-6.0m岸壁の耐震・耐津波対策及び-4.5m岸壁のエプロン補修を行い、漁業活動の効率化、安全性の確保を図ります。	【整備効果】 水産物の生産性向上 ・水産物生産コストの削減 ・漁獲物付加価値化 漁業就業環境の向上 ・漁業就業者の労働環境改善
【令和7年度の整備目標】 □ -6.0m岸壁の耐震・耐津波対策を行います。 □ -4.5m岸壁のエプロン補修を行います。	

(2)「農林水産業の「稼ぐ力」の向上に資する生産基盤づくり」を図る事業

ウ 林業・水産業の生産力の向上に資する生産基盤の整備
② 良質な水産物の安定供給を図るための漁港・漁場の整備

奄美群島沖

広域漁場整備事業

【概 要】

- ◇奄美群島周辺海域はカツオ・マグロ等の浮魚類やマチ類等の底魚類にとって生息しやすい環境を有してます。
- ◇しかしながら、近年は漁獲量の低下、魚価の低迷、燃料価格の高騰等により、漁業経営は厳しい状況となっています。
- ◇このため、人工魚礁による新たな漁場を整備することにより、漁業生産の向上と効率化を図ります。
- ◇その他、地域の漁業者の皆さんが積極的に行っている水産資源の継続的利用へ向けた取り組みを支援し、水産物の安定的な供給を図ります。

【令和7年度の整備目標】

奄美群島沖
浮魚礁8基更新整備、魚礁1箇所整備、
増殖場2箇所整備、測量1箇所

【整備効果】

- 漁獲量の増加効果
整備された魚礁漁場に周辺から魚類が集まることで、漁獲量の増加が図られます。
- 漁獲外産業への効果
漁獲量増加による流通業や加工業等への波及効果が期待されます。
- 操業の効率化
漁場探索時間の短縮により操業が効率化され燃料等の節減が図られます。

